

こがねい 市議会だより

平成30年
第2回定例会
第261号

平成30年(2018年)
8月28日発行

発行／小金井市議会

編集／広報協議会

小金井市議会ホームページアドレス

〒184-8504 小金井市本町六丁目6番3号

TEL(042)387-9947(直通) FAX(042)387-1225

<http://www.city.koganei.lg.jp/shisei/gikaijimukyoku/>

shisei/gikaijimukyoku/



「第40回小金井阿波おどり大会」で優勝した「さくら連」の
小金井 宮地楽器ホール会場での演舞（7月29日開催）

一般会計補正予算(第1回)を可決

新庁舎・(仮称)新福祉社会館建設
基本設計に係る予算に対する付帯決議

障害のある人もない人も共に学び共に生きる 社会を目指す小金井市条例を修正可決

第2回定例会の概要

平成30年第2回定例会(五十嵐京子議長)は、6月1日に開
会し、8日間の会期延長を経て、7月3日に閉会しました。

平成30年度
一般会計補正予算
(第1回)を可決

本補正予算は、一般会計予算
を千355万3千円増額し、補正後
の歳入歳出予算総額を40億7千
155万3千円とするものです。

主な内容は、平成30年第1回定例会において可決した組替え
動議への対応、新庁舎(仮称)新福祉社会館建設関連経費等です。
本件は、6月1日の本会議において予算特別委員会(篠原ひ
ろし委員長)に付託しました。また本補正予算に関連経費が計
上されている新庁舎(仮称)新福祉社会館建設について、市長か
ら改めて議会に現況の報告等を行いたい旨の申入れがあったた
め、6月12日に予定していた議会運営委員会を開催せずに、全
員協議会を開催しました。

6月18日の予算特別委員会では審査を行いました。審査が
終了しなかったことから、7月2日にも委員会を開催しました。
同日、修正案が提出されましたが否決し、原案について起立採
決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

7月3日の本会議では、修正案が提出されましたが否決し、
原案について起立採決の結果、原案のとおり可決しました。ま
た、本件に対する付帯決議(詳細は7面に掲載)を提案し、起
立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

障害のある人もない人も
共に学び共に生きる社会
を目指す小金井市条例
を全会一致で修正可決

本条例は、市民が障害の有無
にかかわらず、相互に人格と個
性を尊重し合いながら、共に手
を取り合い安心して暮らすこと
のできる社会の実現に寄与する
ことを目的とするものです。

本件は、3月2日の本会議において厚生文教委員会(水上洋
志委員長)に付託し、3月5日、22日、4月26日、5月9日、
6月13日及び21日の計6回にわたり審査を行いました。

6月21日の委員会では、委員長を除く全委員から修正案が提
出され可決し、修正部分を除く原案についても採決の結果、可
決すべきものと決定しました。

6月29日の本会議では、修正案及び修正部分を除く原案につ
いて、全会一致で可決しました。また、本条例に対する付帯決
議(詳細は7面に掲載)を提案し、全会一致で可決しました。

「意見・感想をお寄せください」

今号は、議会だよりをより多くの市民の皆さまに手に取
っていただくことを目的とし、試行的に紙面のフルカラー
化と特集ページ作成を行いました。(詳細は8面に掲載)

平成30年第2回 定例会日誌

- 〔6月〕
- 1日 本会議(議案の審議・委員
会付託・採決、陳情の採決)
 - 5日 本会議(一般質問)
 - 7日 本会議(一般質問)
 - 8日 本会議(一般質問)
 - 11日 本会議(一般質問、議案の
審議・採決、議員提出議案
の審議・採決、陳情の委員
会付託)
 - 13日 厚生文教委員会
 - 14日 建設環境委員会
 - 15日 総務企画委員会
 - 18日 予算特別委員会
 - 19日 庁舎及び福祉社会館建設等調
査特別委員会
 - 20日 行財政改革推進調査特別委
員会
 - 21日 本会議(委員会付託案件の
採決・陳情の撤回)
 - 25日 本会議(会期の延長)
 - 29日 本会議(委員会付託案件の
採決)
- 〔7月〕
- 2日 予算特別委員会
 - 3日 本会議(委員会付託案件の
採決、議員提出議案の審
議・委員会付託・採決、陳
情の委員会付託)

各会派の平成29年度
政務活動費収支報告に
ついては2面に掲載し
ています。

市議会の本会議・委員会等の様子をYouTubeで配信しています。

「YouTube 小金井市議会」で検索 (<https://www.youtube.com/user/koganeishigikai>)



審議した主な議案

障害のある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例

条例の概要は1面に掲載しています。

反対討論 (要旨) ※修正案に賛成

森戸洋子 (日本共産党)

市は、国の法律との整合性を図ることを理由に、修正意見に消極的だった。国は、上乗せ・横出し条例を認めている。市は、国の法律と向き合うのではなく、障害者・当事者等と向き合うべきである。時間の関係から修正部分に盛り込めなかった項目は、今後の小金井市地域自立支援協議会での議論に委ねる。

賛成討論 (要旨) ※修正案に賛成

紀由紀子 (公明党)

条例制定のため2年半にわたって検討された地域自立支援協議会の皆様のご苦労に感謝と敬意を表したい。公明党は昨年、飯能市の例を示し、既に合理的配慮を求めてきた。より良い条例にとの願いを受け、防災・災害時やコミュニケーション手段の普及啓発、療育を修正案に追加した。条例を周知実現したい。

平成30年度一般会計補正予算(第1回)

予算の概要は1面に掲載しています。

賛成討論 (要旨)

湯沢綾子 (自民党・信頼)

庁舎・福祉会館は建設が急がれる一方、100億円もの費用を掛ける以上妥協もできない。市は予算提案前の準備が明らかに不十分。悩み議論を重ねた結果、

予算案はそのまま受け入れられるものではないが、公正で透明性の高い発注方式の再検討や複合化方針の策定、財政計画の精査等が約束されたため賛成する。

反対討論 (要旨)

水上洋志 (日本共産党)

市庁舎等の建設関連予算について、計画の具体的な内容が大変不十分であり、必要な検証や検討が行われないまま議決することは問題である。設計・施工の発注方式についての方向性、複合化の是非、清掃関連施設の暫定移設の必要性、財政計画など、予算を精査した上で出し直すべき。

賛成討論 (要旨)

小林正樹 (公明党)

100億円を超えると言われる100年に一度の大事業である庁舎・福祉会館建設のスタートには、余りにもさまざまな提案だと言わざるを得ない。定例会の質疑を通じて、発注方式等の再検討の方向性が示された。市民の多額の血税を投入する事業を行う自覚と責任を持ち、庁内一丸となり進めていただきたいと申し上げる。

賛成討論 (要旨)

鈴木成夫 (みらい)

年間約3億円の市役所第二庁舎の賃貸借契約の更なる延長を避けるためにも、庁舎と福祉会館問題は早急に解消すべき。発注契約方式は、DB、従来方式双方をフラットに検証し、その結果建設スケジュールが延伸した場合、二元代表制の一翼を担う市議会としても市民への説明責任を果たしていくべき。

賛成討論 (要旨)

白井 亨 (こがおも)

強引な進め方であったことから、市長の方針転換は評価をしたい。議会側も早期竣工を望むがスケジュール延伸を覚悟して様々な要望をした。できるだけ多くの議員が許容できる範囲の落とし所を見出して、気持ちとして一緒に、主体的により良い庁舎等建設に取り組んでいけるよう、環境を育んでいきたい。

賛成討論 (要旨)

斎藤康夫 (市民会議)

新庁舎と福祉会館建設の重要な命題は、早急に建設することである。早期建設は高齢者やハンディキャップを持つ方の心の支えである。また、平成34年の期日までに第二庁舎が返却できなければ、税金の無駄遣いであるとともに、市が自律できない自治体として信用・信頼を失うことになる。よって賛成する。

賛成討論 (要旨)

田頭祐子 (生活者ネット)

リース庁舎の早期解消につながる新庁舎の設計予算は進めるのが基本姿勢。しかし、施設複合化の基本方針が、予算上程時にも無いのは遺憾。複合すると市長の決断の遅れがこの事態を招いた。また敷地内の樹木の皆伐は反対。設計に市民の意見が反映できるタイミングで、意見聴取の場を複数回設けること。

賛成討論 (要旨)

沖浦あつし (こがあす)

蛇の目シン工場跡地への庁舎・福祉会館複合化建設の基本設計委託料等、具体的建設工程に入る本補正予算は、福祉会館の早期建設を求める多くの市民にとって、また、庁舎建設と清掃関連施設再整備の長年の積み残し課題の早期解消に向け、

大きな一歩を踏み出す予算であり、早期竣工に向け賛成する。

賛成討論 (要旨)

片山 薫 (市民カエル)

複合化方針策定の際、公民館本館を建設計画に入れ、市民参加の拠点を確保すること。清掃関連施設の敷地内暫定移設を行い、樹木を伐採する計画については見直しを。市議会や市民との一層の情報共有と合意形成が重要になる。新庁舎と福祉会館建設の全体責任者の配置を求める。

賛成討論 (要旨)

坂井えつ子 (緑・つながる)

市が選定した発注方式が適切であるか判断するのに十分な根拠は示されなかった。早期竣工を望むが竣工延伸も視野に入れつつ、再検討を求めた。市長方針が度々揺らぐようでは建設的な質疑ができない。市長は、自身の軸をより明確に持ち、市民や議会の声を聴き、市政運営にあたることを要望する。

職員定数条例の一部を改正する条例

6月1日の本会議において総務企画委員会(小林正樹委員長)に付託し、6月15日、21日の計2回にわたり審査を行いました。本条例は、この間の行財政改革の取組の結果として、職員数が減少し、現在の職員定数790人と職員数との間に乖離が生じているため、適正な職員定数725人に改定するとともに、職員数の数え方を国の地方公共団体定員管理調査及び地方公務員給与実態調査と一致させ、分かりやすく整理するためのものです。

6月21日の委員会では、渡辺(大)委員による修正案及び宮下委員ほか1名による修正案の2件を提出しましたが、いずれも否決した後、原案について起立採決の結果、起立少数により否決しました。

6月29日の本会議では、渡辺(大)議員ほか2名による修正案を提出し、否決した後、原案について起立採決の結果、起立少数により否決しました。

反対討論 (要旨)

板倉真也 (日本共産党)

反対の理由は次のとおり。①改正条例案の職員数725人は、増え続けている業務量への職員増の要求があっても、正規職員では対応しないものとなっているため。②求職者や育児休業者を定数の中に含める改正案となっており、職場に戻ってくるまでは、現行の人数で業務をこなすことが余儀なくされているため。

JR中央線高架下スペースの有効活用を推進すべく、接道条件の緩和・改善を求める陳情書

賛成討論 (要旨)

村山ひでき (みらい)

本陳情はJR中央線高架下スペースの有効活用を求め関係地権者との調整をしつつ調査研究を本市に求めるものだ。行政として用途容積の緩和や改善が必要な土地の有効活用を図るため、調査研究することは当然と考えるので賛成する。もちろん、議会として個人財産を左右するような判断をするわけではない。

全員協議会を開催しました

【6月12日】
【8月22日】

▼新庁舎及び(仮称)新福祉会館建設について

平成29年度 政務活動費収支報告

会 派 名	会派人数	交付額 (A)(※1)	預金利子(B)	収入 (A+B)(C)	支出額(D)	返還額 (C-D)(※2)
自由民主党・信頼の小金井	5人	1,800,000円	8円	1,800,008円	1,280,705円	519,303円
日本共産党小金井市議団	4人	1,440,000円	2円	1,440,002円	1,405,211円	34,791円
小金井市議会公明党	4人	1,440,000円	4円	1,440,004円	1,120,414円	319,590円
小金井市議会民進党(※3)	3人	1,080,000円	0円	1,080,000円	909,978円	170,022円
緑・市民自治こがねい	2人	720,000円	0円	720,000円	615,464円	104,536円
小金井をおもしろくする会	1人	360,000円	0円	360,000円	355,998円	4,002円
こがねい市民会議	1人	360,000円	0円	360,000円	206,390円	153,610円
情報公開こがねい	1人	360,000円	0円	360,000円	349,184円	10,816円
改革連合(※4)	1人	—	—	—	—	—
生活者ネットワーク	1人	360,000円	1円	360,001円	359,883円	118円
小金井の明日をつくる会	1人	360,000円	1円	360,001円	51,491円	308,510円
合 計	24人	8,280,000円	16円	8,280,016円	6,654,718円	1,625,298円

政務活動費は、議員の調査研究等に必要経費の一部として、議会における会派に対して交付するものです。各会派の収入・支出報告書、支出調書については、市ホームページに掲載しています。また、平成29年度政務活動費支出状況より、各会派の収入・支出整理簿や領収書等の写しを掲載しています。

- ※1 会派の所属人数に月額30,000円を乗じた金額を交付しています。
- ※2 残額は市に返還しています。
- ※3 平成29年度末時点の会派名です。
- ※4 平成29年度政務活動費を申請していません。

各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。

議 案 の 審 議 結 果		【会派略称】													議 決 結 果											
		○:賛成 ×:反対 △:退席 議:議長(原則、採決には加わらず)																								
		自	共	公	み	お	会	情	改	ネ	明	市	緑													
付託先略称	即:委員会付託を省略し本会議で採決	吹	湯	河	五	遠	水	た	板	森	渡	小	紀	宮	村	鈴	岸	白	齋	渡	篠	田	沖	片	坂	議 決 結 果
総:	総務企画委員会	春	野	十	藤	上	ゆ	倉	戸	林	辺	林	下	山	木	田	井	藤	辺	原	頭	浦	山	井		
建:	建設環境委員会	や	津	野	十	藤	上	ゆ	倉	戸	林	下	山	木	田	井	藤	辺	原	頭	浦	山	井	井		
障害のある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例	厚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	修正可決
↳ 障害のある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例に対する修正案(議員提案)	厚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
平成30年度小金井市一般会計補正予算(第1回)	予	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
↳ 平成30年度小金井市一般会計補正予算(第1回)に対する修正案(議員提案)	即	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	否 決	
小金井市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	厚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
小金井市介護福祉条例の一部を改正する条例	厚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
小金井市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	厚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
小金井市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	厚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
交通事故により損傷した下水道施設に関し和解することについて	建	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
小金井市市税条例等の一部を改正する条例	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
専決処分報告及び承認について(小金井市市税条例の一部を改正する条例)	即	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承 認
専決処分報告及び承認について(小金井市都市計画税条例の一部を改正する条例)	即	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承 認
監査委員の選任に関し同意を求めることについて	即	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 意
固定資産評価審査委員会委員の選任に関し同意を求めることについて	即	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 意
名誉市民の選定に関し同意を求めることについて(黒井千次氏)	即	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 意
名誉市民の選定に関し同意を求めることについて(毛利和子氏)	即	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	同 意
審査請求に関する諮問について	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	却下すべきものと答申
小金井市職員定数条例の一部を改正する条例	総	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	否 決
↳ 小金井市職員定数条例の一部を改正する条例に対する修正案(議員提案)	即	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	否 決

請 願 ・ 陳 情 の 審 議 結 果		【会派略称】													議 決 結 果												
		○:賛成 ×:反対 △:退席 議:議長(原則、採決には加わらず)																									
		自	共	公	み	お	会	情	改	ネ	明	市	緑														
付託先略称	即:委員会付託を省略し本会議で採決	吹	湯	河	五	遠	水	た	板	森	渡	小	紀	宮	村	鈴	岸	白	齋	渡	篠	田	沖	片	坂	議 決 結 果	
総:	総務企画委員会	春	野	十	藤	上	ゆ	倉	戸	林	辺	林	下	山	木	田	井	藤	辺	原	頭	浦	山	井			
建:	建設環境委員会	や	津	野	十	藤	上	ゆ	倉	戸	林	下	山	木	田	井	藤	辺	原	頭	浦	山	井	井			
件 名	要 旨	吹	湯	河	五	遠	水	た	板	森	渡	小	紀	宮	村	鈴	岸	白	齋	渡	篠	田	沖	片	坂	議 決 結 果	
市政の選挙の立候補届出の際の「くじを引く順番を決めるくじ」の省略を求める陳情書	市長選挙や市議会議員選挙の告示日は、選挙戦で唯一の日曜日である。一刻も早く立候補届出を済ませ選挙運動を始めるため、「くじを引く順番を決めるくじ」を省略し、立候補届出が速やかに完了する工夫を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		採 択
J R中央線高架下スペースの有効活用を推進すべく、接道条件の緩和・改善を求める陳情書	JR中央線高架下スペースの有効活用を図るべく、①関係地権者との調整を促進し、接道条件や用途容積の緩和・改善、②緩和・改善が難しい箇所についての調査・研究を求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		採 択
「障害のある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例(案)」に関する陳情書	当該条例第9条に、「市は、児童及び生徒に対し、障害、障害者及び共生社会についての正しい知識と理解を深めるための教育の重要性を認識し、その実施のために必要な措置を講ずるものとする。」条項の追加を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採 択	
障害者差別解消のための条例案の修正を求める陳情書(その1)	日本も締約している障害者の権利に関する条約第21条にのっとり、都条例(案)に盛り込まれる予定の「手話言語」条項を、市の当該条例にも盛り込むことを求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採 択	
障害者差別解消のための条例案の修正を求める陳情書(その4)	日本も締約している障害者の権利に関する条約第11条にのっとり、当該条例第8条第1項に、「災害時」条項を、盛り込むことを求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採 択	
「障害のある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例」の平成30年4月1日施行を求める陳情書	地域自立支援協議会の総意に基づいた当該条例を平成30年4月1日に施行し、市民に向けた普及啓発等の措置を講じるとともに、同協議会等の体制整備について、責任をもって検討し、取り組むことを求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣 旨 採 択	
障害者差別解消のための条例案の修正を求める陳情書(その5)	日本も締約している障害者の権利に関する条約第29条にのっとり、当該条例第8条第1項に、「参政権(選挙権、被選挙権等の市民参加)」条項を、盛り込むことを求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣 旨 採 択	
東京都に、第32回オリンピック2020東京の開会式に競技施設等の工事従事者の入場行進を求める等の意見書提出を求める陳情書	都に対し、①建設工事従事者の入場行進を求める意見書の提出、②労働災害防止の行政監督を強化し、「持続可能性に配慮した調達コード」順守の徹底、③安全協議会に関係者の積極的な関与を求める意見書の提出を求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不 採 択	
障害者差別解消のための条例案の修正を求める陳情書(その2)	差別事案への市長の「報告」に実効性を担保するため、都条例(案)に盛り込まれる予定の「公表」条項を、市の当該条例にも盛り込むことを求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不 採 択	
障害者差別解消のための条例案の修正を求める陳情書(その3)	市長による「報告」に実効性を担保・強化のため、障害者の権利に関する条約第5条第3項にのっとり、都条例に盛り込まれる予定の「合理的配慮の事業者への義務付け」条項を市の当該条例にも盛り込むことを求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不 採 択	
(公財)小金井市体育協会への補助金交付の一時停止を求める陳情書の撤回		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承 認	

閉会中の委員会日程及び審査案件

厚生文教委員会 7月20日(金)午後1時
 ▶小金井市義務教育就学児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例 ▶公益財団法人小金井市体育協会への補助金の一部返還に関する陳情書 ▶都において児童相談所・警察・学校などの連携・協力を進め、児童虐待防止対策の抜本強化・拡充するため意見書提出を求める陳情書 ▶子ども施策に関する諸問題の調査 ▶小金井市保健福祉総合計画の策定と運用について

総務企画委員会 7月30日(月)午前10時
 ▶厳寒期の大災害に備え、各避難所にジェットヒーター等の導入を求める陳情書 ▶社会福祉委員に意図的に条例違反の報酬支給を続けていた事件の全容解明を求める陳情書 ▶小金井市の予算査定に関する調査及び財政援助団体の財務等の調査を求める陳情書 ▶社会福祉委員への報酬支払問題に係る検査 ▶小金井市公共施設等総合管理計画の進捗状況と方針についての諸問題の調査

建設環境委員会 8月3日(金)午前10時
 ▶東京都住宅供給公社の家賃引き下げを求める陳情書 ▶駅周辺整備に関する調査 ▶市内都市計画及び住環境に関する調査 ▶

資源循環社会形成に関する調査

行財政改革推進調査特別委員会 8月9日(木)午前10時
 ▶婦人相談員の非常勤化を撤回し、小金井市の子ども・女性支援施策の充実を求める陳情書 ▶婦人相談員の非常勤化を撤回し、常勤婦人相談員による施策の充実を求める陳情書 ▶婦人相談員の非常勤化に反対する陳情書 ▶「第5次男女共同参画行動計画」の具体的実施として婦人相談員の常勤維持と拡充を求める陳情書 ▶行財政改革の推進に係る諸問題の調査

議会運営委員会 8月17日(金)午前10時 8月27日(月)午後2時
 ▶議会改革に関する諸問題の調査 ▶①次期定例会(臨時会を含む。)の会期及び会議日割等、議会運営に関する調査、②議会の会議規則、委員会条例等に関する調査、③議会運営に関する議長の諮問事項について

庁舎及び福祉施設建設等調査特別委員会 8月22日(水)全員協議会終了後
 ▶小金井市新庁舎(仮称)新福祉会館建設基本設計委託事業者選考委員会及び評議員会設置条例 ▶新市庁舎の床面積縮減等によ

る建築コスト削減等を求める陳情書 ▶市庁舎の建設面積を縮減することにより、図書館本館の建設を進めることを求める陳情書 ▶公民館本館を新福祉会館と併設する旨の議会意思の確定を求める陳情書 ▶新庁舎の床面積の大幅増に反対し、コンパクトでコストダウンの建設を求める陳情書 ▶庁舎建設予定地の大型樹木を保全し、小金井らしい緑豊かな庁舎とすることを求める陳情書(その1) ▶庁舎建設予定地の大型樹木を保全し、小金井らしい緑豊かな庁舎とすることを求める陳情書(その2) ▶庁舎建設予定地の大型樹木を保全し、小金井らしい緑豊かな庁舎とすることを求める陳情書(その3) ▶庁舎建設予定地の大型樹木を保全し、小金井らしい緑豊かな庁舎とすることを求める陳情書(その4) ▶多くの市民が利用する福祉会館は、多くの職員がいる市庁舎の北側ではなく、採光や眺望の良い南面に建設することを求める陳情書 ▶庁舎建設予定地北側(JR中央線高架下)からの道路の恒久的確保を求める陳情書 ▶庁舎及び福祉会館建設等に係る諸問題の調査

会議録が早くご覧になれるよう、未定稿(校正中)を公開しています。
「小金井市議会 会議録」で検索 (<http://asp.db-search.com/koganei-c/>)



一 般 質 問

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

(4面～6面) 6月5日、7日、8日、11日

- (自 民 党・信 頼) 自由民主党・信頼の小金井
- (日 本 共 産 党) 日本共産党小金井市議団
- (公 明 党) 小金井市議会公明党
- (み ら い) みらいのこがねい
- (こ が お も) 小金井をおもしろくする会
- (市 民 会 議) こがねい市民会議
- (情 報 公 開) 情報公開こがねい
- (改 革 連 合) 改革連合
- (生 活 者 ネット) 生活者ネットワーク
- (こ が あ す) 小金井の明日をつくる会
- (市 民 カ エ ル) 市民といっしょにカエル会
- (緑・つながる) 緑・つながる小金井

新庁舎建設について ／本市でもAIの導入を



吹春やすたか (自民党・信頼)

①市役所新庁舎建設について。(ア)西岡市長は市民に對し、市長選挙公約が形を変えていったことの説明をしているのか。説明の方法と、説明会などを開いた場合の延べ来場者は何人か。説明責任を十分に果たしたと認識しているのか。(イ)広報活動は十分と言えるのか。(ウ)府中市では新庁舎特別広報誌、はがきでの意見募集、庁舎建設ふちゅうかわら版、更にキャラバン隊による周知活動を行っている。本市では出来ないか。

市長 (ア)市長報告を平成28年10月、12月、平成29年2月に行い、市報とホームページにも掲載している。ワークシヨップに56人、市民説明会に58人が参加。(イ)市民の方々の声や、市議会からの声を可能な限り反映しながら積み上げてきたこの計画については、これからも丁寧に説明を積み重ねてまいりたい。

企画財政部長 (ウ)非常に参考になると思う。

②先進自治体ではAIの導入、実証実験が進められている。本市でも研究を進めるべきではないか。

企画財政部長 AIは自治体の業務及び運営を大きく変える可能性があると考えている。AIの活用については、情報収集、研究に努めたいと考えている。

武蔵小金井北口再開発の 今後／ごみ収集改善



村山ひでき (みらい)

①武蔵小金井北口駅前地区市街地再開発準備組合が解散したが(ア)今後の市の方針である「街区全体の再開発にこだわらない任意の共同化」とは。(イ)市としてできることは。(ウ)商店街の通りを整備すべき。

都市整備部長 (ア)都市再開発法に基づかず個々の権利者が共同でビルを建設することが任意の共同化である。閉店した大型店舗より東側について早期の共同化を検討していると聞いている。(イ)これまで同様に情報共有し、国や都の補助制度も協議した上で必要な財政的支援も図りたい。(ウ)今年度中に策定予定の無電柱化推進計画に位置付けられるよう検討したい。

②ごみ収集について。(ア)夏季だけでも燃やすごみの収集を午前中に終わるよう改善を。(イ)火災時の建築廃材処理を無料にできないか。(ウ)消費者トラブル防止のために遺品整理等の臨時ごみを扱う業者を条件付きで紹介しないか。

環境部長 (ア)収集車を1台増やすと月約124万円掛かり50分しか短縮できず、午前中に収集するには、各地区に3台増車が必要になる。(イ)現状は産業廃棄物の収集許可業者に依頼してもらっているが研究する。(ウ)研究課題の一つとして考えている。

「みどり号」廃止を受け 市の対応を問う



小林正樹 (公明党)

①社会福祉協議会が運用する、「福祉バス「みどり号」」は、福祉団体はもろろんのこと、子ども会や悠友クラブ、町会自治会など多くの市民団体が利用し、市民活動の足となっている。活動を支援する補助策など、市の考えを問う。

福祉保健部長 他市の補助事例等を参考に慎重に検討しなければならぬ。

②ものを大切にすることを育むために。(ア)文房具など不要な学用品の回収をしないか。(イ)フードドライブの回数を増やさないか。(ウ)東京都の子ども食堂推進事業補助金を得る為にも、子ども食堂連絡会の立ち上げ、活動を支援しないか。

環境部長 (ア)研究課題としたい。(イ)増やしたい。社会福祉協議会と協議する。

子ども家庭部長 (ウ)期待される効果はあると考える。団体に周知したい。

③玉川上水沿いの緑道整備活用の進捗について。(ア)平右衛門橋と横断歩道までの間の緑道の拡幅を。(イ)スロープの検討状況について。(ウ)誰もが歩きやすい緑道の検討状況について。

生涯学習部長 (ア)東京都教育庁に相談している。(イ)現段階では検討中。(ウ)整備活用推進委員会で、歩きやすく自然に近い土系の路面とする案が検討されている。

子どもが伸びやかに 暮らす小金井市の実現を



鈴木成夫 (みらい)

①いじめをしない、させない小金井実現のため、条例策定に取り組まないか。

教育長 子どもたちの現状が更に複雑化、多様化し、いじめ問題についてもより専門的な立場から意見を頂き、いじめ対策委員会を作り、弁護士、ソーシャルワーカーなど、様々な専門家に施策について検討していただき、改善の知恵を頂くことは大事なことだと認識している。これまでの取組を延長する意味合いで、小金井市いじめ防止条例の策定を検討していきたい。

②放課後等デイサービス報酬区分の導入により、重度のお子さんの割合が50%を超えないと事業所報酬単価が下がる制度変更の影響について市の見解は。

福祉保健部長 平成30年4月1日時点の指標該当状況に関する通知を230人全員に送付し、報酬改定や利用料金に影響が出る可能性を記載している。今後、説明会を含め、より丁寧な説明の方法・内容について検討し、適切な周知を行う。情報収集しているが、重度の方はそう多くないと認識している。報酬改定から2か月経つ中で、影響については市内事業者や近隣市の状況、国や都の動向を含めて積極的に情報収集に努めていきたいと考えている。

地域の見守る目を 増やすためにできること



沖浦あつし (こがねい)

①肝心な時に、地域は学校を守れるのか。見守り活動を積極的にやっている方々も多くいらっしゃる中で、そうでない方でも見守りの意識を持っていただくことも大切。既導入の、こがねい安全・安心メールの受信登録者数が10人に1人いるかないかという状況で、地域の全ての人が気付けるものがあれば、見守る目を増やすことにつながる。学校の下校時間に防災無線を活用して見守りの呼びかけ放送をしないか。(近隣自治体で活用事例あり)

総務部長 夕刻に防災無線を活用するふれあいメモ

②転入者へ町会・自治会の加入案内は、希望がなければ配っていない状況。「わたしの便利帳」の掲載や差込書類を工夫しないか。

企画財政部長 「わたしの便利帳」の転入者向けや防災関連のページへの掲載の検討をする。転入者用スブック分への加入案内の差し込みは可能と考える。

子どもたちを 地域で見守る体制強化を



遠藤百合子 (自民党・信頼)

①子どもの安全安心の確保のために。(ア)子どもを見守る家(カンガルーのポケット)の継続と更なる推進を。(イ)スクールメールシステムの現状と課題は。(ウ)防災行政無線での「ふれあいメロディー」の活用を。(エ)こきんちゃんあいさつ運動で缶バッジ作成は。(オ)安全安心メール配信システムの利用拡大を。(カ)わんわんパトロールの理解と協力を。(キ)子どもを見守る強化月間の創設を。

学校教育部長 (ア)平成29年7月現在166件、一層の周知徹底に努める。(イ)システムの活用ができるよう促していききたい。(キ)どう展開できるか研究していききたい。

総務部長 (ウ)子どもの見守りの時間の目安として活用していく。(エ)缶バッジ2万個を作成し配布している。(オ)周知に努めていききたい。(カ)警察と協力、連携したい。(キ)学校行事や教育機関周辺での禁煙を。

学校教育部長 全校の禁煙化に向けて努力していく。

③中学校での防災訓練の実施及び消防団活動の周知教育を。

学校教育部長 消防署と連携し訓練を実施。消防団活動の周知徹底を図りたい。

④9年前に作った農家の庭先販売所マップの更新を。

市民部長 検討したい。

市内保育所全園で 巡回相談を実施しよう



白井 亨 (こがねい)

市内保育園での巡回相談(専門士派遣)について、公立5園では2か月に1度3職種の専門士が各園に派遣され、私立園では現在合計7園が市の補助制度を活用して専門士を派遣していることがこれまでの調査で分かった。(ア)巡回相談の必要性について市の考えは。(イ)利用ニーズのある他の私立園へのアプローチは。(ウ)補助額25万円上限の拡充などの検討は。(エ)幼稚園での巡回相談のニーズを調査しているか。(オ)幼稚園の現状把握から取り組まないか。(カ)児童発達支援センターきりでは開設時に保育施設への巡回相談が予定されていたが現状は。

子ども家庭部長 (ア)子どものより良い成長のため、大事な事業だと認識している。(ウ)民間園長会などの様々な機会で見聞交換をしている。(カ)今後どのような形にしていくなか研究・検討したい。

保育政策担当課長 (イ)現在は周知をしている。詳細についてはこれからである。(エ)詳細な聞き取り等は行っていない。

福祉保健部長 (カ)現在はできていない。今後は、この計画にある内容を、当該施設また、関係部署と連携して、どのような形で計画を実行できるか課題である。

シティプロモーション 〜小金井の魅力発信〜



河野律子 (自民党・信頼)
保護者に保育のガイドライン等を示しての協議が必要

①(ア)名所や史跡などの観光案内板を改修・新設し、まち歩きを楽しめる環境を整備し愛着のある小金井に、(イ)クラウドファンディング(不特定多数の寄付を募ること)を活用して設置を。
市民部長 (ア)改修を検討。
企画財政部長 (イ)今年度中に取組を実施したい。
②第2地区の子育て支援施設に親子カフェの設置を。広場を一体的に活用するイベントを実施し賑わいを。
都市整備部長 駅周辺の賑わいが高まるよう、まちづくりに取り組んでいきたい。
③(ア)保育園民営化スケジュールを見直す時機であり、

経管栄養導入者が 入所できる特養ホームを



板倉真也 (日本共産党)
現実的には難しい。

①(ア)経管栄養導入者から特養ホーム入所に関する相談が来た場合、どのように対応しているのか。(イ)経管栄養導入者が入所できる特養ホームの確立に向けた手立てを、早急に行うべき。
福祉保健部長 (ア)施設に直接お問い合わせいただくようにご案内している。(イ)特養ホームは、介護の必要な方に対する生活の場の提供のための施設。医療ニーズがより高い方に関しては、介護療養病床や介護医療院も新たに制度化されている。特養ホームにおいては、全ての医療行為が必要な方に対応を講ずるといことは、

全ての人が差別されない まち小金井を



渡辺ふみ子 (公明党)
しており、東中学校では、LGBTについての研究授業が行われた。

①障がいのある人、LGBT(性的少数者)、外国人等に対する偏見や差別を解消するため、学校や地域で正しい知識を得る学習会や研修会を開催すべき。
福祉保健部長 市職員には、障がい者理解促進研修会を年3回開催する。
企画財政部長 LGBTについては、今年度より専門講師による研修会を実施する予定。
生涯学習部長 貫井北七センターで、9月29日にLGBTへの理解を深める市民向け講習会を開催する。
学校教育部長 教職員も都の人権教育研修会に出席

町会・自治会に対する 市の支援拡充を求める



宮下 誠 (公明党)
これを市で各町会や自治会の希望を集約し、市が実施

「人と人のつながり」「信頼」「お互いさまの意識」、この3つが良好だと地域は安定する。今後は住民が積極的に地域や社会に関わる流れをより強く、太くすることが大切である。(ア)町会・自治会に対する支援策を打たないか。(イ)防災関連グッズを適切に提供し、自主防災会の取組の後押しを。
企画財政部長 (ア)財政支援としては、新たに自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業について案内している。この助成事業自体は以前からあったが、煩雑な手続き等のため、十分に活用されていなかった。

来年5月元号改定 この機会に西暦使用を



坂井えつ子 (緑・つながる)
(ア)現状の対応を基本に、他市等の動向も留意しながら適切に対応していく。(オ)西暦の併記も可能としている

(ア)国からの通知と庁内での通知は。(イ)市の考え方は。(ウ)システム管理は。(エ)管理は西暦だが、出力する際は元号。改元に伴うシステム改修に係る費用は。(オ)申請書や届出書は。(カ)市が送付する文書は。(キ)西暦と元号を併記しないか。(ク)平成50年と記載のある議会資料には違和感があるが、どうか。(ク)計画書や条例に記載のある平成33年などの扱いは。(コ)市民の目に触れる計画物や刊行物は西暦、もしくは西暦と元号の併記を。
総務部長 (ア)国からの通知は来ていない。通知を待つて、適宜対応していく。

公園を市民の夢を叶える コミュニティの場へ



岸田正義 (みらい)
栗山公園でパークPFIを

市内公園の約8割が500㎡未満と小規模で、地域における整備状況の格差、偏在化による低未利用公園の発生や維持管理が課題。(ア)公園が市民に知られていない写真付きで公園の魅力発信すべき。(イ)公園をもっと楽しく身近にするため無料の公園アプリを導入しないか。(ウ)低未利用公園を地域に開き、公園を市民の夢を叶えるコミュニティの場へ育てるべき。(エ)公園のネットワーキングの検討を。(オ)開発による新たな公園ではなく公園協力の提供を受け公園全体の維持管理に活用すべき。(カ)利用者が多い

学童保育所の民間委託に ついて問う



水上洋志 (日本共産党)
子ども家庭部長 (ア)中長期的に見れば人件費削減にあたっている。実払給与額等と比較すると財政効果も下がることは想定される。

①学童保育所の民間委託について問う。(ア)財政効果について、委託によって学童保育所の職員は任用替えとなっている。市全体では、職員が減るわけではないので財政効果は生まれないのではないか。また職員人件費は理論値の1人830万円で計算されている。実際の給与と比較すると委託による財政効果はそれほどないのではないか。(イ)財政効果があつたらば、学童保育の充実のために使うべき。財政効果は何に使われているのか。(ウ)施設清掃など要望に応えることを求める。これ以上の委託化はやめるべき。
②放課後子どもプランの拡充について、他市と比較しても実施回数が少ない。コーディネーター等の謝礼を増額すべきではないか。
市長 (イ)生みだされた財政効果はそれほどのものではないか。(イ)財政効果があつたらば、学童保育の充実にあてていくと認識している。
生涯学習部長 今後謝礼等について検討していく。

新庁舎のコストは 福祉相談に接遇のプロを



田頭祐子 (生活者ネット)
イクルコストに着目し検討。

①(ア)複合型の新庁舎・新福祉会館は平成33年度末に竣工予定。リース庁舎を解消し、財政負担を減らすために早期竣工が重要。床面積の縮減検討は。(イ)基本設計から竣工まで出来るコスト縮減の検討と工夫は。リーダはいい。専門性はバリアフリー新法等にも基づき算出。そこから複合化等の削減で1万2千㎡と見込んだ。職員1人当たりの床面積は20・76㎡で、多摩各市中最少。(イ)建物の品質を下げずコスト削減する手法で、常にコストを意識する。建築費だけでなく、修繕費など建物のライフサ

栗山公園の池／プール 授業の日焼け止め解禁



湯沢綾子 (自民党・信頼)
活はすぐには難しいため、将来的に噴水に戻せる余地を残した上で、一旦花壇等にすることを検討する。(ウ)公園等整備基本方針を策定して方針を具体化していく。

①(ア)栗山公園の修景池はポンプ故障により水が抜かれ、今は雨水が溜まっていて、カルガモの子育てを楽しみにしている市民も心配している。早急に復旧して欲しい。(イ)長年使われておらずひびの入った噴水設備もこの機会に対応を。(ウ)元々ゴミが気になることもあったが池の清掃は充分か。低未利用公園の整理等により、必要な管理費用が行き渡るよう合理化すべき。
環境部長 (ア)機械が受注生産のためどうしても最短5か月かかる。工事期間中は警備員を配置するなど利用者には最大限配慮する。

在宅医療の充実を 社協バスの存続を



たゆ久貴 (日本共産党)
地域包括ケアをより良いものにするには医療と介護の連携と同時に、在宅医療体制の増強が重要であるが、市は弱いのではないかと、市民からは「病院に通えなくなったらお家で診てもらえるのか不安」という声が聞こえてくる。市が支援し課題を解決すべき。

①地域包括ケアをより良いものにするには医療と介護の連携と同時に、在宅医療体制の増強が重要であるが、市は弱いのではないかと、市民からは「病院に通えなくなったらお家で診てもらえるのか不安」という声が聞こえてくる。市が支援し課題を解決すべき。
高年齢福祉担当課長 各関係機関との会議では課題の抽出と検討をしている。そこで出た課題についてはまだ予算化したことはない。
②社協バス「みどり号」は多くの市民が利用している。市民からは「廃止しないでほしい」という声が出ている。運行業務の廃止はやめるべき。存続をさせるか、もしくはそれに代わるバスを同じような低負担で利用できるような支援や補助など対策をとるべき。
福祉保健部長 同様の業務の継続は財政的に厳しい。補助等の対策は慎重に検討していかねばならない。
③本町住宅の一部建て替えに関して、住民追い出しのやり方は許せない。市は東京都住宅供給公社と連携し、早期に住民へ丁寧な説明や対応を行い、住宅保障など必要な支援をするべき。
都市整備部長 東京都住宅供給公社に対して丁寧な対応や支援など要望を伝えお願ひしていきたい。

健康長寿のフレイル予防 と在宅医療介護推進



紀由紀子 (公明党)
推進を。(オ)認知症カフェや介護者家族会等の支援する人を支える対策の推進は。

①健康長寿のためのフレイル(加齢による心身の虚弱)予防と在宅医療・介護の推進について(ア)要介護になる要因は何か。(イ)予防について、フレイルは筋力が衰える「身体的フレイル」、うつや認知機能が低下する「心理的・認知的フレイル」、独居や経済的困窮、孤食による「社会的フレイル」がある。その推進はどうか。
②(ア)さらさら体操の現状・課題と推進は。(イ)介護支援ボランティアポイント制度の課題と推進は。(ウ)高齢者の食育(タンパク質の摂取や減塩や孤食の課題)の今後の展開は。(エ)口腔ケアの推進を。(オ)認知症カフェや介護者家族会等の支援する人を支える対策の推進は。
福祉保健部長 ①(ア)1位は認知症、2位は脳血管疾患、3位はフレイルで、介護予防や重度化への対策が重要である。(イ)是非検討させていただきたい。
②(ア)さらさら体操の管理会場8か所で開催1万8千人の参加者数。リーダーや会場の確保に努めたい。(イ)受入事業所やボランティアの拡充のため周知に努めたい。(ウ)介護と健康分野で連携し、予防に努めたい。(エ)口腔ケアは、フレイルに大きな影響がある。進めていきたい。(オ)介護者手帳を配布し介護者負担軽減を図りたい。

公文書管理条例 に警察は呼ばないで



片山 薫 (市民力エール)
把握すべき。(イ)措置入院後の市の支援体制は。

①(ア)政策決定過程の文書は永年保存を。(イ)子どもの権利条約制定の経緯は、見直しのため重要だが、なぜ残っていないのか。(ウ)障害者差別解消条例の資料も永年保存を。(エ)文化財センターの歴史文書保存の検討の際に公文書管理条例を作り公文書館を整備すべきだ。
総務部長 (ア)他市事例を参考に研究する。(エ)他市の動向に留意する。
子ども家庭部長 (イ)廃棄年度が来たので廃棄した。
福祉保健部長 (ウ)永年保存の判断には立っていない。
②(ア)市民に対して警察を呼ぶのはなぜか。全庁的に



「ふるさと府中歴史館」の中にある公文書史料室

新庁舎・新福祉社会館 建設問題



斎藤康夫 (市民会議)
私は従来の考え方、新庁舎と新福祉社会館をそれぞれに単独にし、最短時間で完成させることが最良と考えている。ハンディキャップを持つ方々にとって福祉社会館は心の拠り所であり、リース庁舎の賃貸料は無駄遣いである。しかし、市長の政策として進めてきた現在、巻き戻すことはできない。平成34年開庁を遅らせることはできないので、不本意だが複合化を容認せざるを得ない。Creer2案は決定と考えて良いのか。

①私の本来の考え方は、新庁舎と新福祉社会館をそれぞれに単独にし、最短時間で完成させることが最良と考えている。ハンディキャップを持つ方々にとって福祉社会館は心の拠り所であり、リース庁舎の賃貸料は無駄遣いである。しかし、市長の政策として進めてきた現在、巻き戻すことはできない。平成34年開庁を遅らせることはできないので、不本意だが複合化を容認せざるを得ない。Creer2案は決定と考えて良いのか。
市長 市として決定しており、私の考えでもあり、②(ア)新庁舎建設にデザインビルド(DB)方式はメリットが少ないと考える。私は従来方式の設計・施工分離が良いと考えている。見解を求める。(イ)コストラクションマネジメント(CM)業務を導入するならば、基本設計委託事業者の選定と工事監理業務の期間も委託すべきである。
公共施設マネジメント推進担当課長 (ア)早期建設と受注者の責任の下で契約金額の範囲内で事業進捗が図れると考えている。(イ)上流工程から関わることで高い効果を発揮すると認識しているが、速やかな着手のために基本設計委託事業者選定にCMが関わることを断念した。

市庁舎建設は コストダウンの徹底を



渡辺大三 (情報公開)
館・清掃関連施設の課題の解決を考えた結果である。

①(ア)当初の財源計画では地方債(借金)は31億円を見込んでいたが、これが25億円急増し56億円になって原因は。(イ)図書館本館、公民館本館、東小金井駅前文化施設などの基幹的市民サービス施設などは整備の見通しが無い。庁舎については、市長は床面積1万2千㎡を計画しているが、現在の庁舎と第二庁舎の床面積の合計(9千㎡)程度に圧縮し、3千㎡は図書館本館にしてはどうか(現在の図書館本館は千800㎡)。
企画財政部長 (ア)機能等が固まり、事業費が固まってくる中で、庁舎・福祉社会館・清掃関連施設の課題の解決を考えた結果である。
②組織改正に向けて、議会事務局と監査委員事務局を統合、総務課と選挙管理事務局を統合してはどうか。議会議務局と監査委員事務局の繁忙期はずれている。また、武蔵野市では総務課が選挙管理事務局を兼ねている。
企画財政部長 事例も含めて検討したい。
③農工大北側の歩行者・自転車通路(市道)は、プラタナスもあり、帯状公園として整備できないか。
都市整備部長 現時点では難しい。

京王バスルート変更に伴う 市の対応について



森戸洋子 (日本共産党)
3月23日に開催した地域公共交通会議にて報告し、特

京王バスが4月16日からルートとダイヤの変更を行ったが、多くの高齢者が困っている。(ア)市は知っているながら、なぜ主体的に対策を取らなかったのか。(イ)狛江市や国立市が実施しているように、ココバスでシルバーバスを早急に使えようにしないか。(ウ)東町1丁目、5丁目ココバスミニを走らせることを再度求めたい。(ウ)需要や必要性について十分に検討した上で判断していきたい。
都市整備部長 (ア)昨年10月に京王バスから減便の報告を受けた。ココバスと一部競合により、採算が見込めないこと、運転手の人員不足により路線の維持が困難であると説明を受けた。公共交通会議にて報告し、特段の意見等はなかった。(イ)本年度より実施するコミュニティバス再編事業において、ルートや運行本数などを総合的に見直す予定である。本事業においてのテーマの一つと考えている。現状の運行状況の整理や市民アンケート等の情報収集に努め、福祉施策等の観点も踏まえ、た上で総合的に判断していきたい。(ウ)需要や必要性について十分に検討した上で判断していきたい。
その他、ごみの減量、リサイクル事業所の今後について、財政問題等について質問しました。

●委員会の視察先とテーマ●

- 厚生文教委員会**
7月5日、6日
▽千葉県柏市(高齢者福祉・地域包括ケアシステムについて)
▽長野県松本市(子どもの権利に関する施策について)
- 建設環境委員会**
7月5日～6日
▽奈良県生駒市(再生可能エネルギー導入による電力の地産地消モデル)
▽京都府京都市(無電柱化の推進に向けた取組について)
- 総務企画委員会**
7月9日～10日
▽大阪府藤井寺市(公共施設保全計画の更新方法の検討、広域連携を進めるための課題抽出と解決策の検討)
- 議会運営委員会**
8月6日～7日
▽静岡県藤枝市(決算特別委員会・予算特別委員会・常任委員会のチェックサイクルについて)
▽三重県鳥羽市(IT化の推進について)

※過去の行政視察報告書は、議会図書室(本庁舎4階)及び情報公開コーナー(第二庁舎6階)で閲覧できます
※平成29年度から行政視察報告書を市議会ホームページで公開しています。

意見書・決議の審議結果

【会派略称】
 公：小金井市議会公明党
 会：こがねい市民会議
 ネ：生活者ネットワーク
 緑：緑・つながる小金井

自：自由民主党・信頼の小金井
 み：みらいのこがねい
 情：情報公開こがねい
 明：小金井の明日をつくる会

共：日本共産党小金井市議団
 お：小金井をおもしろくする会
 改：改革連合
 市：市民といっしょにカエル会

議 決 結 果

○：賛成 ×：反対 △：退席 議：議長(原則、採決には加わらず)

自	共	公	み	お	会	情	改	明	市	緑												
吹	湯	河	五	遠	水	板	森	渡	小	紀	宮	村	鈴	岸	白	齋	渡	篠	田	沖	片	坂
春	沢	野	十	藤	上	倉	戸	辺	林	由	下	山	木	田	井	藤	辺	原	田	浦	山	井
やす	綾	律	風	百	洋	真	真	ふ	正	紀	誠	ひ	成	正	亨	康	大	ひろ	祐	あ	山	え
た	子	子	京	合	志	也	也	ぎ	樹	子	誠	で	夫	義		夫	三	し	し	つ	子	子

※可決された意見書は、国等への関係機関に送付しました。

件 名	要 旨 (提案議員が作成)	吹	湯	河	五	遠	水	板	森	渡	小	紀	宮	村	鈴	岸	白	齋	渡	篠	田	沖	片	坂	
「働き方改革」一括法案の強行採決に抗議し、撤回を求める意見書	データのねつ造などで法案提出の根拠が総崩れし、長時間労働を拡大し過労死促進の危険な中身も浮き彫りになり、過労死遺族からの批判や国民の理解を得られていない状況である。よって強行採決に抗議し撤回を求める。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	△	○	×	○	○	○	○	○
大飯原発4号機の再稼働に抗議し、「原発ゼロ」の実現を求める意見書	若狭湾沿岸に隣接する4基が稼働することとなったが、原子力規制委員会の安全審査は、同時事故を想定していない。使用済み核燃料の行き先も未定で、課題は山積み。再稼働に断固抗議し、原発ゼロの実現を求める。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
ヘルプマークの更なる普及推進を求める意見書	心のバリアフリーの普及推進のため、心のバリアフリー推進事業など、自治体が行うヘルプマーク及びヘルプカードの取組への財政的支援の充実や国民への更なる情報提供・普及、理解促進を図ることを強く求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域材の利用拡大推進を求める意見書	森林資源を循環利用し、林業の成長産業化を実現するためには、地域材の安定供給体制の構築を新たな木材需要の創出が必要である。低コストで安定供給のための条件整備、競争力強化、施設整備等の総合的な推進を求める。	○	○	○	議	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ネオニコチノイド系農薬の使用禁止と、農産物規格規程の着色剤規定の廃止を求める意見書	着色剤規定の廃止と斑点米カメムシ類への指定有害動植物の指定解除が、日本におけるネオニコチノイド系農薬の使用量削減を実現する第一歩になる。農家としても、健康を害しコストアップとなる農薬を使う理由はない。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
モニタリングポストの継続配置を求める意見書	福島原発事故は継続中であり、空間線量を可視化するモニタリングポストの配置を継続し、撤去は廃炉作業が全て終了してから行うことと、大気中粉じん濃度測定ダストモニターを広範囲で設置することを求める。	△	△	△	議	△	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日本政府に対し、職場におけるセクシュアルハラスメントや暴力を禁止するILO国際条約制定への賛同を求める意見書	ILOは職場におけるセクハラや暴力を無くすため拘束力を持つ条約を制定する方針を決めた。政府は条約制定に賛成し、セクハラを規制する法整備を進め、条約制定の際には速やかに批准することを求める。	△	△	△	議	△	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
表現の自由を脅かす、小金井警察署による市民の不当連行に抗議し、市民の平穏な請願権を行使する活動を保障する決議	「安倍9条改憲NO! 3000万人署名」への協力をお願いしていた3人の市民が、小金井警察署員によって不当連行された事件に抗議し、警察署は市民に謝罪し市民が平穏に請願権を行使する権利を侵すことのないよう強く求める。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	×	△	△	△	○	○	△	○	△	○	△	○	○
TPP11関連法案の強行採決に抗議し、撤回と平等・互恵の経済関係を発展させることを求める意見書	日本の農業を衰退させ、食料自給率の向上を放棄し、食糧の安全保障をないがしろにするTPP11関連法案の採決に抗議し、撤回、中止し、食料主権、経済主権を尊重した平等・互恵の経済関係を発展させることを求める。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	△	○	△	○	△	○	△	○	○
一連の疑惑の全容説明と安倍内閣の総辞職を求める意見書	安倍内閣の下で次々に起きる一連の不正や疑惑問題は、国民の政治不信を増大させる最大の要因となっており、統治能力の欠如、政権担当能力の欠如を国民の前に知らしめるものとなっている。よって、総辞職を求める。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○	△	○	△	○	△	○	○
カジノ実施法案の撤回を求める意見書	刑法の賭博禁止と整合が取れず、経済効果も疑問で、カジノ資本が国民を搾取し、深刻なギャンブル依存症を増加させるカジノ実施法案は廃案しかない。政府にカジノを含む統合リゾート実施法案の撤回を求める。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	△	○	△	○	△	○	×	○	○
議案第42号障害のある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例に対する付帯決議	平成30年第1回定例会での市長提案の本条例案について、八王子市条例の視察や市民との意見交換会の実施を経て、新たな条文の追加及び5つの条文を修正する等、協議の結果、一致した内容の修正を求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号平成30年度小金井市一般会計補正予算(第1回)に対する付帯決議	新庁舎・福祉会館建設基本設計については、最終局面で大きな方針転換がされた。よって市議会は、市民の理解を得られる事業となるよう、事業を推進する立場から、発注方式の合理的な再検討と説明など7項目を求める。	○	○	○	議	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○
約100億円を支出する新庁舎及び(仮称)新福祉会館の建設関連予算について、西岡市長の提案姿勢とその責任を厳しく問う決議	西岡市長は新庁舎等の建設関連予算約3億円を提案した。多くの議員から発注方式など指摘され、方針案を検討し直すことと答弁した。根拠がない予算を市議会に押し付けることは許されない。責任を問い、予算撤回を求める。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

会派の解散・結成がありました

6月1日付けで、片山薫議員及び坂井えつ子議員の所属する会派より会派解散届が提出され、併せて、両議員より会派結成届が提出されたため、次のとおり変更となりました。

(旧) ●緑・市民自治こがねい
 片山 薫 坂井 えつ子

(新) ●市民といっしょにカエル会
 片山 薫
 ●緑・つながる小金井
 坂井 えつ子

反対討論 (要旨)

遠藤百合子(自民党・信頼)

安倍内閣の発足後、有効求人倍率は高い水準で推移し、雇用の増加等アベノミクスにより、所得環境は順調な改善をみている。G7サミット等の外交において安倍総理は積極的な平和外交、経済外交を精力的に展開しており、各国首脳に評価されている。内外共に高評価の安倍総理の継続を期待し、反対する。

賛成討論 (要旨)

たけうち久貴(日本共産党)

当該マンションは構造が開放的であり、住居侵入には当てはまらない。憲法で保障されている言論・表現の自由、請願権、参政権は守られなければならない。それを住居侵入などとして攻撃することは署名活動の妨害とともに、まさに民主主義の否定そのもので、一切の道理はなく許せない。よって賛成する。

反対討論 (要旨)

宮下 誠(公明党)

公明党は世界最高水準にふさわしい法案内容にすべく、議論をリードしてきた。IR施設建設を全国で3か所までに限定、入場回数制限については7日間で3回、28日間で10回という世界に類のない制限を設けたほか、一人当たり1回6千円の入場料を徴収するなど、国民の期待に応える規制が策定されている。

広報協議会

次の日程で開催しました。会議の様子はYouTubeでご覧いただけます。

▼5月22日(火)
 ▼6月21日(木)
 ▼7月20日(金)

賛成討論 (要旨)

渡辺大三(情報公開)

①他市と比べ異常に借金依存率が高い建設計画である。②建設コスト大幅削減に向けた床面積削減、工法の工夫がほとんど検討されていない。③庁舎と福祉会館を複合化させる基本計画、基本方針が策定されていない。④「Cre・2案」に結論を導くための「操作」が行われている。よって決議案に賛成する。

反対討論 (要旨)

宮下 誠(公明党)

約100億円を支出する新庁舎及び(仮称)新福祉会館の建設関連予算について、西岡市長の提案姿勢とその責任を厳しく問う決議

反対討論 (要旨)

宮下 誠(公明党)

カジノ実施法案の撤回を求める意見書

特集①

原稿は議員が作成しております

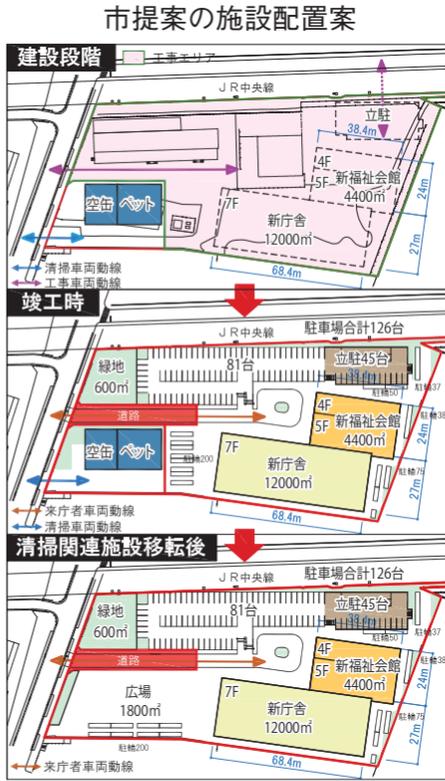
庁舎等建設基本設計予算審議

議会質疑に対し、市長が「発注方式をフラットに見直す」と答弁

庁舎と(仮称)新福祉会館建設については、平成29年6月12日に庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会(鈴木成夫委員長)を設置し、様々な調査と審査を行ってきました。平成30年3月(仮称)新福祉会館建設基本計画が示され、2施設を単体か複合か、コスト削減や財政計画、CM(コンストラクションマネジメント)、DB(デザインビルド)方式などの発注契約方式、建設予定地内における清掃関連施設の仮移転、福祉総合相談窓口機能や窓口の設置場所などの議論を行ってきました。

庁舎・(仮称)新福祉会館建設関連経費が計上された平成30年第2回定例会では、補正予算の審査を行いました。契約発注方式、施設複合化方針、また基本設計委託事業者の選考委員会や市民参加の在り方、財政計画などについて様々な会派から意見がありました。これらを受け、審査が終わらぬまま市長から「調整の時間が欲しい」との申出により結果的に会期を8日間延長しました。7月2日の予算特別委員会の総括質疑では、議会から指摘された契約発注方式、施設複合化方針の検討に対し市長は、遅くとも8月22日に開催予定の庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会までには一定の方向性を示すと表明、「DB・従来方式双方をフラットに検討し、結果として建設スケジュールが延伸することを受け止める」といった答弁がありました。

翌日の本会議で、市長原案と2会派からの修正案を採決し、市長原案は賛成多数で可決し、修正案は否決しました。その後、補正予算に対する付帯決議を賛成多数で可決し、2会派が提案した「西岡市長の提案姿勢と責任を厳しく問う決議」を否決しました。さらに2会派が「選考委員会及び評議委員会設置条例」を提出し、閉会中の継続審査としました。



第2回定例会での審議経過

日付	会議	内容
6月12日	全員協議会 市長 議会	平成33年度竣工を目指し複合施設として整備、CMを採用しDB方式で発注したい 基本設計前の市民説明、契約発注方式、財政計画、清掃関連施設仮移転の是非、複合化方針策定の必要性は？
6月18日	予算特別委員会 議会	建設スケジュール遅れの影響、市長公約との乖離、CM導入効果、DB方式の優位性の検証、事業者選定委員会の委員構成、清掃関連施設仮移転とJR高架下空間の活用、建設経費縮減策は？
6月21日	予備日 市長	議会から様々なご意見・ご要望を頂き、それらを調整させていただくため、お時間を頂きたい
6月25日	本会議 市長	この間に検討させて頂く案件があり、本日は予算特別委員会の開催に至らないことを心からお詫び申し上げます
7月3日までの会期延長を決定		
7月2日	議会 市長 予算特別委員会	発注契約方式の検討、複合化方針、財政計画、市民説明、CMの採用と庁内体制の強化は？ 改めてDB方式・従来方式双方をフラットに検討し、結果としてスケジュールの延伸も受け止める。議会の皆様のご理解も頂き、早期竣工を目指したい
7月3日本会議で採決へ		

用語解説

CM(コンストラクションマネジメント) = 発注者支援のために建設工事監督業務等に係る発注関係事務の一部または全部を民間委託する方式
DB(デザインビルド)方式 = 設計と施工を一括で発注する方式

特集②

障害のある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例

修正可決までの取組について

条例案は、小金井市地域自立支援協議会の発議により、2年半かけて議論し、策定しました。策定に当たり、パブリックコメントでは多くの市民から多様な意見が寄せられました。

条例案は厚生文教委員会に付託し、市民からは7件の陳情書が提出され、一括して審査を行いました。

厚生文教委員は、八王子市の条例と取組を視察し、6月2日には市民との意見交換会を開催しました。意見交換会では障がい者やその家族から、条例案に対し多数の意見が出されました。



こうした取組の中で、厚生文教委員会として、全会一致で可決することができました。

修正した5項目の内容

- ①差別の定義:「正当な理由なく」を削除。②合理的な配慮:「防災」「災害時」を加える。③情報伝達(手話等)の啓発、支援を加える④「個々の障害に応じた教育」を「個々に応じた教育及び療育」に修正。合理的な配慮のために「必要な環境を整える」を「必要な措置を講ずるものとする」に修正。⑤「障害及び障害者に関する正しい知識、正しく理解するための教育が行われるよう必要な措置を講ずる」に修正。

さらに、厚生文教委員が提案者になり、市長に対し具体的施策への着手や都条例との整合性への協議検討など、5項目の課題解決に向けた取組を求める付帯決議を提案し、全会一致で可決しました。

特集③

議会報告会を開催しました

市議会は、5月19日(土)、「議会報告会2018 市民と議会の交流会議」を開催しました。50名を超える参加者から、議会や市政に対する様々な意見・要望、質問が出されました。

議会報告会は、平成28年施行の議会基本条例で「市民への説明責任を果たすために、地域で直接市民に対し議会の活動の様子を知らせるとともに、議会を身近なものにするために、議会報告会を年1回以上開催する」と定められたことに基づいて行われています。

今回の報告会は、予算特別委員会、3つの常任委員会(総務企画委員会、厚生文教委員会、建設環境委員会)、2つの特別委員会(庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会、行財政改革推進調査特別委員会)、そして議会運営委員会の正副委員長から、審査内容や主な論点などを報告しました。

その後、6つのテーブル(常任委員会3つ、特別委員会2つ、フリートーク1つ)に、興味・関心に基づいて分かれて座り、自由なテーブルトークを行いました。

ここで寄せられたアンケートなどの結果は、今後ホームページなどで公開する予定です。

これからも、市民に分かりやすい議会の実現のために努力して参ります。



皆様の声をお聴かせください

いつも「議会だより」をご覧いただきありがとうございます。市議会では、議会改革の一環として、今号において特集ページ(本ページ)を新設し、更にフルカラー化(一部あたり約0.42円増)を行いました。市議会では、来年度以降この取組の継続を検討しております。皆様のご意見・ご感想をお寄せください。

- 問1. 特集ページはいかがでしたか?
- 問2. カラー紙面はいかがでしたか?
- 問3. その他紙面に関するご意見・ご要望

ご送信先
メール: g020199@koganei-shi.jp
FAX: 042-387-1225
締切日: 平成30年9月30日(日)

次の定例会は平成30年8月30日(木)開会予定です。